

ベンゼン協定値超過事案を受けた 市の監視指導について

平成28年1月21日
北九州市

市による検証

排ガス中のベンゼン協定値超過事案に関し、発生源の特定及び処理施設全体の管理状況等について、平成27年11月25日、26日、12月7日、10日の4回に渡り、延べ21名の本市職員が立入検査を行い、担当者へのヒヤリング及び書類検査を実施し、総合的な検証を行った。また、再発防止に向け、12月25日、28日、1月12日、13日、14日、15日の6回に渡り、JESCOと協議を実施した。

施設の立入

(11月25日・26日)

- 高濃度ベンゼンが検出された排気系統(排気口:2G4)の確認
 - ・PCB原料槽、濾過待受槽、処理済油受槽、固形物充填槽の4箇所の設備確認
 - ・深冷クーラー、排気トラップ、活性炭槽、排気のサンプリング口(発生源:固形物充填槽)確認
- 上記以外の排気系統の設備確認(1期施設4箇所、2期施設8箇所)
- 換気系統の設備確認(1期施設2箇所、2期施設2箇所)

(12月7日・10日)

- 日報等書類検査(深冷クーラーを設置後の平成25年6月以降の管理状況を確認)
 - ・JESCO及び運転会社の日報
 - ・JESCOの業務連絡書
 - ・リスクアセスメント推進会議資料
- 施設運用状況のヒヤリング

総 括 ・今回の排気箇所及び同様に1期施設においてベンゼンの排気処理・セーフティネットに課題が確認されたため、是正するよう指導
・運転会社への指示・情報共有、セーフティネットの管理方法等に課題が確認されたため、是正するよう指導
以上を踏まえ、再発防止策を精査していく

今後の監視指導体制

ベンゼンの環境保全協定値を超過したことは、市の監視指導により未然に防止できなかったことは、重く受け止めている。

市としては、二度とこのようなことが起こらないよう、JESCO及び環境省から示された再発防止の方向も踏まえ、処理の安全確保に万全を期すため、本市の監視指導体制を抜本的に強化する。

体制の強化

《基本的考え方》

今まで以上に、きめ細かな立入検査実施することにより、設備の適正な運転を確保

操業上の課題を早期に把握し適切な対応することにより、重大なトラブルを防止

行政測定を強化し、早期発見・迅速な対応及び信頼性を確保

操業状況を実地確認し、きめ細かく安全操業状況を把握

軽微なトラブル事例やモニタリング状況等を市民に提供し、安全性に対する信頼性確保や市民監視を強化

《強化策》

1. 立入検査・報告徴収の強化

2. ヒヤリハット事例や軽微なトラブル事象の把握

3. 行政測定における測定回数・箇所の増加

4. PCB処理監視会議の監視機能の強化

5. 市民に対する情報提供の強化

以上を実行する観点から、環境保全協定を見直す

強化策の具体的内容①

1. 立入検査・報告徴収の強化

- 毎月ペースで施設に立入を実施
 - ・ 設備が適切に設置されているか確認
 - ・ 運用状況を日報等で確認
 - ・ 測定項目(圧力、風量)等中央制御室で確認し、適正な運転状況かを確認
 - ・ 情報共有が適切に行われているか確認
 - ・ 作業マニュアル手順通りに作業が行われているか確認
 - ・ 緊急時の対応等確認
- 迅速な報告徴収
 - ・ 軽微なトラブルの速やかな報告徴収

設備の適正な運転を確保



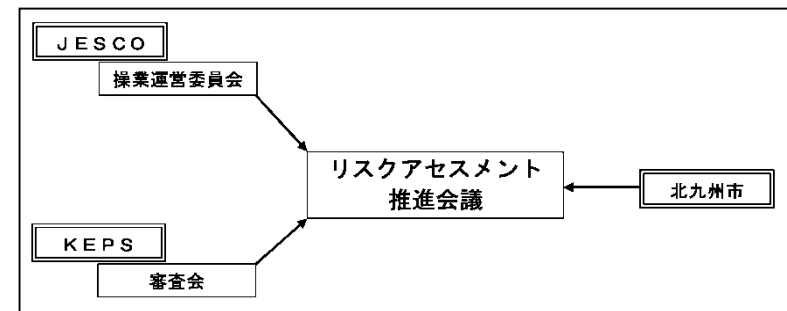
強化策の具体的内容②

2. 軽微なトラブル事象の把握

- リスクアセスメント推進会議※に参加
 - ・作業上のヒヤリハットや軽微なトラブル事象の把握
 - ・作業の課題や問題点の把握
 - ・軽微な運用変更等の把握

※リスクアセスメント推進会議とは、JESCOと運転会社が作業上のヒヤリハットや軽微なトラブル事象について、毎月協議する会議

重大なトラブルを未然防止



3. 行政測定強化

- 測定頻度・測定範囲の拡充
 - ・当面の間は環境保全協定に定める協定項目を全排気口、換気口の測定を原則年2回実施

- 行政による測定
 - ・環境科学研究所の活用も含め、市自らが最大限、測定を実施

測定の信頼性・迅速性の確保



強化策の具体的内容③

4. PCB処理監視会議の監視機能の強化

●監視機能の強化(立入の実施)

- ・細かな操業状況の確認 [設備面]
- ・運用の変更箇所の確認 [管理運用面]
- ・JESCO・環境省・本市それぞれの安全確保のための実施状況の報告を求める

チェック機能の抜本強化



5. 市民に対する情報提供の強化

●情報発信拠点(環境コミュニティセンター)及び専用ホームページを活用した情報発信

- ・処理施設の操業状況を公表
- ・ヒヤリハットや軽微なトラブル事例を公表
- ・環境モニタリング結果を公表
(更新頻度を高める)

処理の安全に対する信頼 市民監視の強化の確保

